

2021年10月3日(日)大宮ふれあい工房にて【若手芸術家による弦楽アンサンブル】第2弾は幸運にも緊急事態宣言解除後に開催されました。ジョージア国立交響楽団首席指揮者であり、関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者のギオルギ・バブアゼ氏、アマービレフィルハーモニー管弦楽団の団長様始め、若手弦楽奏者を招聘し、乳幼児から高齢者までの地域の人々に弦楽カルテット、ヴァイオリンソロ、弦楽アンサンブルと云った多様な編成でポピュラーなクラシックの名曲を鑑賞して頂きました。何はともあれ、コロナ禍にありましても皆さまのおかげをもちまして周年祭を無事、実施できましたことに心より感謝申し上げます。



ヴァイオリンソロ



弦楽アンサンブル



カルテット



カルテット&声楽

【参加者から寄せられたご感想】

「バリエーション豊かな演奏を楽しくきかせて頂きました。ソプラノ感動しました。

ありがとうございました。」(70代)

「クラシックは全く聴きませんが親しみのある曲ばかりで楽しかったです。時間もちょうど良かったです！」(20代)

「知ってる曲が多くて楽しかった。生演奏に大いに満足しました。」(30代)

「丹後で演奏を聴く機会がほとんどないので生演奏に大いに満足！月に一度くらいこのような編成で又は異なる編成で開催して下さい！」(70代)

「生っていいです。勉強になりました。」(40代)

「乳幼児と参加できるコンサートを開催して頂き、有難うございました」(20代)

「響きも造りも美しい会場での演奏、奏者ももちろんですが、聴いていた私が一番満足していたかもしれせん。きっとお客様も満足されたことでしょう。」

(一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 事務局長様)

「この丹後で生の演奏に触れられる機会があることは私にとっても、また子供たちにとって大変貴重であると同時に楽しく参加させていただきました。コロナ禍で難しいことばかり続きますが、又宜しくお願い致します。」(30代)